



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス  
 コード番号 2705 URL http://www.ootoya.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三森 久実  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,123	10.4	217	△10.7	215	△16.3	76	259.9
26年3月期第2四半期	10,983	9.3	243	60.4	257	121.4	21	△84.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 74百万円(△17.2%) 26年3月期第2四半期 90百万円(△54.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	10.62	10.61
26年3月期第2四半期	2.95	2.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,020	4,140	37.3
26年3月期	10,305	4,216	40.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,110百万円 26年3月期 4,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	7.7	675	△10.6	650	△16.9	280	40.0	39.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規一社(社名)、除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	7,183,000株	26年3月期	7,180,000株
27年3月期2Q	137株	26年3月期	137株
27年3月期2Q	7,180,655株	26年3月期2Q	7,179,863株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月の消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動に加え、7月から9月にかけての台風や集中豪雨の影響及び急激な円安の進行により、景気回復の足取りが重い状況となりました。

外食産業におきましても、個人消費の足踏みや急激な円安に伴う食材価格の高騰、水道光熱費の上昇、人手不足による人件費の上昇等から経営環境は引き続き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、国内・海外合計500店舗体制への基礎作り中間期と位置づけ、店舗ネットワークの充実、店舗価値のさらなる向上を図り「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、成長のための施策を引き続き実施しております。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営5店舗、フランチャイズ8店舗を新規に出店し、海外におきましては、直営店を米国ニューヨーク州で1店舗、「大戸屋ごはん処」フランチャイズ店をタイ王国で4店舗、台湾で2店舗、インドネシア共和国で2店舗、新規に出店いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間中に合計22店舗を出店したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で402店舗（うち国内直営150店舗、国内フランチャイズ169店舗、海外直営12店舗、海外フランチャイズ71店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、食材価格、人件費及び水道光熱費の上昇の影響もあり、売上高は12,123百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益217百万円（同10.7%減）、経常利益215百万円（同16.3%減）となり、国内における直営店舗売却益65百万円を特別利益に計上する一方、国内における既存店舗の改装に係る固定資産除却損25百万円及び海外における減損損失13百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が159百万円となったため、四半期純利益は76百万円（同259.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」5店舗（ビーンズ戸田公園店、ポンテポルタ千住店、グランデュオ立川店、ニッケコルトンプラザ店、成増駅南口店）の新規出店がありましたが、2店舗（赤坂通り店、本八幡南口店）の閉店がありました。また、国内直営事業でありました4店舗（中目黒店、府中北口店、和戸店、JR琴似店）が国内フランチャイズ事業となりました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」147店舗、「おとや」等他業態3店舗の総計150店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は7,397百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益174百万円（同10.3%減）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」8店舗（イオン南風原SC店、横浜馬車道店、パークプレイス大分店、上越大日店、小手指駅前店、鳴子店、旭川永山店、北谷店）の新規出店がありました。また、4店舗（中目黒店、府中北口店、和戸店、JR琴似店）について国内フランチャイズ事業としました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」169店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は3,521百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益503百万円（同21.3%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、12店舗（香港大戸屋有限公司が香港に4店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に3店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗、大戸屋（上海）餐饮管理有限公司が中国上海市において1店舗）稼働しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は965百万円（前年同期比32.0%増）、営業損失147百万円（前年同期は128百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、71店舗（タイ王国において44店舗、台湾において19店舗、インドネシア共和国において8店舗）を展開しておりますが、前連結会計年度に大戸屋（上海）餐饮管理有限公司を連結子会社化したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は163百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益39百万円（同17.9%減）となりました。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であり、当第2四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y 食ライフ研究所が食育事業等を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD.（平成25年10月1日付でOOTOYA (THAILAND) CO., LTD. から商号変更）が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業をタイ王国で行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は75百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比494.6%増）、営業損失10百万円（前年同期は19百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,698百万円を主なものとして4,197百万円(前連結会計年度末比14.0%増)、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産4,256百万円と敷金及び保証金1,765百万円を主なものとして6,823百万円(同3.0%増)であり、資産合計では11,020百万円(同6.9%増)となりました。これは主に、現金及び預金が増加したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、1年内返済予定の長期借入金1,803百万円、買掛金1,001百万円及び未払金627百万円を主なものとして4,197百万円(前連結会計年度末比15.7%増)、固定負債は、長期借入金1,273百万円を主なものとして2,682百万円(同9.0%増)であり、負債合計では6,880百万円(同13.0%増)となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,140百万円(前連結会計年度末比1.8%減)となり、自己資本比率は37.3%となりました。これは主に、利益剰余金が減少したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により344百万円を獲得し、投資活動により590百万円を使用し、財務活動により765百万円を調達した結果、2,584百万円(前連結会計年度末比24.7%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は344百万円(前年同期比16.9%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益238百万円を計上し、減価償却費444百万円等の非資金的費用がありました。また、未払金の減少による支出123百万円、法人税等の支払による支出313百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は590百万円(前年同期比3.5%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出505百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、調達した資金は765百万円(前年同期は795百万円の使用)となりました。これは主に、借入金の返済による支出が997百万円と配当金の支払額143百万円がありましたが、借入による収入が2,000百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績期予想と実績の差異及び平成27年3月期の連結業績予想につきましては、本日(平成26年11月7日)公表の「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が16,855千円増加し、利益剰余金が10,657千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,186,369	2,698,327
売掛金	791,646	775,654
原材料及び貯蔵品	66,192	76,740
その他	636,362	646,472
流動資産合計	3,680,570	4,197,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,822,791	2,808,917
工具、器具及び備品(純額)	1,112,367	1,094,343
その他(純額)	282,413	353,493
有形固定資産合計	4,217,572	4,256,755
無形固定資産		
のれん	16,824	99,011
その他	75,246	64,526
無形固定資産合計	92,071	163,538
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,707,901	1,765,862
その他	607,777	637,244
投資その他の資産合計	2,315,678	2,403,107
固定資産合計	6,625,322	6,823,400
資産合計	10,305,893	11,020,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,040,672	1,001,722
1年内返済予定の長期借入金	995,808	1,803,208
リース債務	180,168	190,821
未払金	801,746	627,517
未払法人税等	264,055	121,000
賞与引当金	57,072	65,481
店舗閉鎖損失引当金	1,660	—
その他	286,988	387,386
流動負債合計	3,628,171	4,197,137
固定負債		
長期借入金	1,079,248	1,273,944
リース債務	388,291	359,484
退職給付に係る負債	236,532	254,817
資産除去債務	302,206	300,077
その他	454,615	494,638
固定負債合計	2,460,893	2,682,961
負債合計	6,089,065	6,880,099



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,465,024	1,466,543
資本剰余金	1,383,224	1,384,743
利益剰余金	1,278,233	1,200,272
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,126,361	4,051,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,319	26,830
為替換算調整勘定	61,923	42,589
退職給付に係る調整累計額	△12,194	△10,315
その他の包括利益累計額合計	62,048	59,104
新株予約権	1,347	1,274
少数株主持分	27,070	28,678
純資産合計	4,216,828	4,140,495
負債純資産合計	10,305,893	11,020,595

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	10,983,033	12,123,729
売上原価	4,609,286	5,297,522
売上総利益	6,373,747	6,826,206
販売費及び一般管理費	6,130,279	6,608,822
営業利益	243,468	217,384
営業外収益		
受取利息	896	755
受取配当金	471	43
協賛金収入	19,335	17,839
為替差益	33,059	—
その他	8,237	7,658
営業外収益合計	62,000	26,296
営業外費用		
支払利息	28,575	24,616
為替差損	—	3,310
持分法による投資損失	18,650	—
その他	501	71
営業外費用合計	47,727	27,998
経常利益	257,741	215,682
店舗売却益	9,574	65,586
その他	1,180	—
特別利益	10,754	65,586
特別損失		
固定資産除却損	23,005	25,374
減損損失	58,352	13,494
その他	188	3,958
特別損失合計	81,546	42,828
税引前当期純利益	186,948	238,440
法人税等	155,764	159,959
少数株主損益調整前当期純利益	31,184	78,481
少数株主利益	9,985	2,187
当期純利益	21,198	76,293

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,184	78,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,632	14,511
為替換算調整勘定	52,143	△19,913
退職給付に係る調整額	—	1,878
持分法適用会社に対する持分相当額	8,814	—
その他の包括利益合計	59,325	△3,523
四半期包括利益	90,509	74,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,285	73,349
少数株主に係る四半期包括利益	10,224	1,607

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	186,948	238,440
減価償却費	409,645	444,713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,327	8,481
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△7,223	△1,660
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,746	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	4,352
受取利息及び受取配当金	△1,367	△798
支払利息	28,575	24,616
持分法による投資損益(△は益)	18,650	—
店舗売却損益(△は益)	△9,574	△65,586
固定資産除却損	23,005	25,374
固定資産売却損益(△は益)	△992	—
減損損失	58,352	13,494
売上債権の増減額(△は増加)	32,496	15,331
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,879	△11,012
前払費用の増減額(△は増加)	△53,328	△33,683
未収入金の増減額(△は増加)	△2,352	△36,081
仕入債務の増減額(△は減少)	△85,188	△36,395
未払金の増減額(△は減少)	△70,025	△123,943
未払費用の増減額(△は減少)	△11,236	18,689
未払消費税等の増減額(△は減少)	△50,064	91,689
未収消費税等の増減額(△は増加)	26,077	—
その他	44,664	45,006
小計	549,238	621,031
利息及び配当金の受取額	899	565
利息の支払額	△28,397	△25,531
法人税等の支払額	△245,209	△313,393
法人税等の還付額	17,825	61,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,356	344,133

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△20,350	△1,038
貸付金の回収による収入	7,032	10,063
有形固定資産の取得による支出	△504,784	△505,176
有形固定資産の売却による収入	3,480	—
無形固定資産の取得による支出	△160	△92,339
長期前払費用の取得による支出	△30,963	△18,348
敷金及び保証金の差入による支出	△32,832	△76,935
敷金及び保証金の回収による収入	22,373	41,904
店舗売却による収入	40,943	104,258
その他	△54,931	△52,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570,192	△590,412
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	500,000
短期借入金の返済による支出	△10,000	△500,000
長期借入れによる収入	30,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△513,900	△497,904
株式の発行による収入	—	2,892
リース債務の返済による支出	△87,638	△95,277
配当金の支払額	△213,829	△143,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△795,369	765,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,422	△7,518
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,048,783	511,957
現金及び現金同等物の期首残高	3,350,865	2,072,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,302,081	2,584,327

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,120,920	2,969,089	731,584	148,742	10,970,337	12,696	10,983,033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	153,932	153,932
計	7,120,920	2,969,089	731,584	148,742	10,970,337	166,629	11,136,966
セグメント利益又は損失(△)	194,895	415,127	△128,988	47,794	528,829	19,470	548,300

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	528,829
「その他」の区分の利益	19,470
セグメント間取引消去	△42,262
全社費用(注)	△262,568
四半期連結損益計算書の営業利益	243,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては58,352千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,397,089	3,521,446	965,811	163,890	12,048,237	75,492	12,123,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	178,330	178,330
計	7,397,089	3,521,446	965,811	163,890	12,048,237	253,822	12,302,059
セグメント利益又は損失(△)	174,733	503,718	△147,694	39,237	569,994	△10,280	559,714

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	569,994
「その他」の区分の利益	△10,280
セグメント間取引消去	△36,752
全社費用(注)	△305,576
四半期連結損益計算書の営業利益	217,384

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外直営事業」セグメントにおいて、店舗の譲受けを行いました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、90,221千円であります。